

日本英学史学会 中国・四国支部

令和4年度 総会・第1回（通算85回）研究例会のご案内

令和4年度支部総会、及び第1回（通算第85回）支部研究例会は、現在のコロナ感染状況を鑑み、全面オンラインで開催いたします（ハイフレックス方式ではありません）。皆様ふるってご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。研究例会のあとには、オンライン懇親会を予定しております。こちらの方へも多数のご参加をお待ちしております。

日時： 2022年5月28日（土） 13:00 オンライン受付開始
方法： オンライン会議システム Zoom による開催
参加費： 会員、非会員とも無料

支部総会（13:20～13:50）

議長選出、前年度活動報告・会計報告・会計監査報告、新年度活動計画、他

開会行事（14:00～14:05） 支部長挨拶

研究発表（14:05～15:15）

「西日本の旧制中学校に勤務した外国人英語講師の日本研究」

保坂 芳男（拓殖大学）

<p>【概要】発表者は20年間以上にわたり、全国の旧制中学の外国人講師に関する調査を行っている。その最終目的は旧制中学史上での外国人講師採用の効果を検証することにある。その手段の一つが、旧制中学で英語を教えた外国人講師のその後のキャリアを明らかにすることである。今回は、西日本の旧制中学校に勤務した外国人講師の日本研究に焦点を当てる。その代表は言うまでもなく L. Hearn である。他にも京都中学に勤務した R. Ponsonby や滋賀県に勤務した W. M. Vories 他を紹介したい。</p>

聴衆参加型座談会（15:30～16:40）

「ラジオと英語」

コーディネータ 河村 和也・馬本 勉（県立広島大学）

<p>【概要】2021年度後半、連続テレビ小説とタイアップした英語講座がラジオから流れ、英語関係者の間で話題となった。自身の英語学習を振り返り、ラジオ講座の思い出に浸った支部会員も多いことと思われる。今回は、そうした会員それぞれの、当時の教材や講師陣の思い出を軸に、ラジオ英語番組が聴取者（英語学習者）に与えた影響について議論を深めたい。オンライン開催ならではの「参加型」座談会にたくさんの思い出を持ち寄っていただきたい。</p>

閉会行事（16:45～16:50） 副支部長挨拶

懇親会（17:30～19:00） オンラインで開催（参加自由。飲み物や食事は各自準備）

オンライン研究例会の参加申し込みについて

5月23日（月）までに、電子メールにてお申込みください。（メールアドレス eigaku@tom.edisc.jp）
後日、研究例会参加用の URL（Zoom 接続用アドレス）をお送りします。